



主な内容

- 平成17年度決算報告 2~7
- 第31回交通安全町民大会 8~9
- 農業者年金制度 10~11
- 平成18年度地価調査 17

壬生町敬老のつどい開催

9月14日、壬生中央公民館を会場に「壬生町敬老のつどい」が開催され、ロス・インディオス&アリシアによる歌謡ショー(写真)などの演芸が行われ、出席した高齢者の方々を楽しませました。
(関連記事15頁)

平成17年度 一般会計決算額

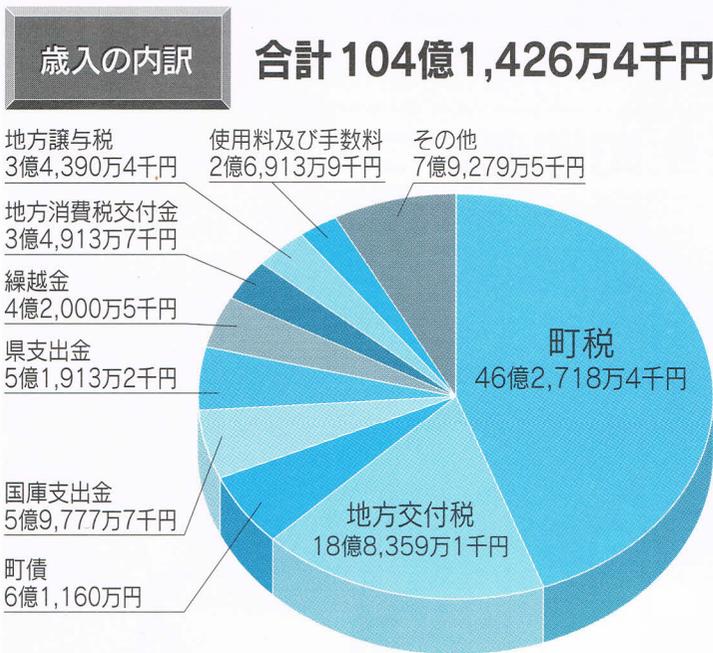
98億7,040万4千円

町では、町民の皆さんに町の財政の様子を知っていただくために、財政状況を公表しています。

今回は、皆さんからお預かりした税金等のお金がどのように使われ、利用されたのかを知ることができる決算についてご報告いたします。

一般会計決算の概要

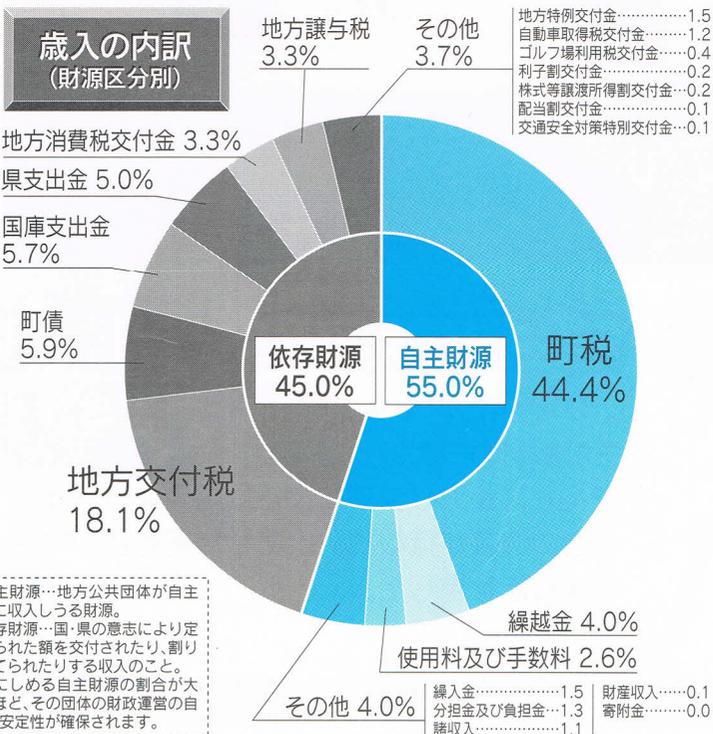
平成17年度の当初予算は、引き続き財政の健全性を維持することを念頭に置きながらも、合併50周年の節目の年を迎えることから、個性と工夫に満ちた魅力あるまちの形成に向けて社会資本の整備はもとより、少子・高齢化対策に対処する福祉施策や教育問題への対応等住民福祉の向上に努めるとともに、町内経済の活性化への積極的な取り組み等、当面する緊要な課題に全力を挙げることであり、限られた財源の効率的な配分に努めて編成しました。



平成17年度の当初予算は101億6,000万円、その後発生した行政需要及び国・県支出金の増減などに対応し5回の補正を行い、最終予算額は、平成16年度からの繰越明許費を含め102億7,927万5千円となりました。

その結果、平成17年度の一般会計決算額は、歳入総額104億1,426万4千円、歳出総額98億7,040万4千円となり、前年度と比較して、歳入が6億1,899万9千円(△5.6%)、歳出が7億4,285万5千円(△7.0%)とそれぞれ減額となりました。

減額の主な理由としては、減税補てん債借換債(歳入)と借換に伴う繰上償還金(歳出)が皆減したことによります。



町のお金は何に使われているの!

町民一人当たりが負担した町税

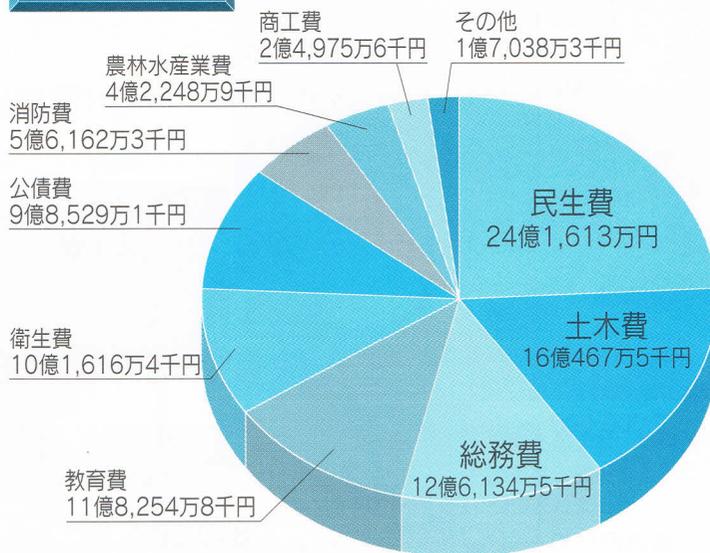
(単位:円)

区分	一世帯当たりの負担額	一人当たりの負担額
町民税	133,703	46,194
固定資産税	160,772	55,547
軽自動車税	3,596	1,242
町たばこ税	16,417	5,672
都市計画税	21,473	7,419

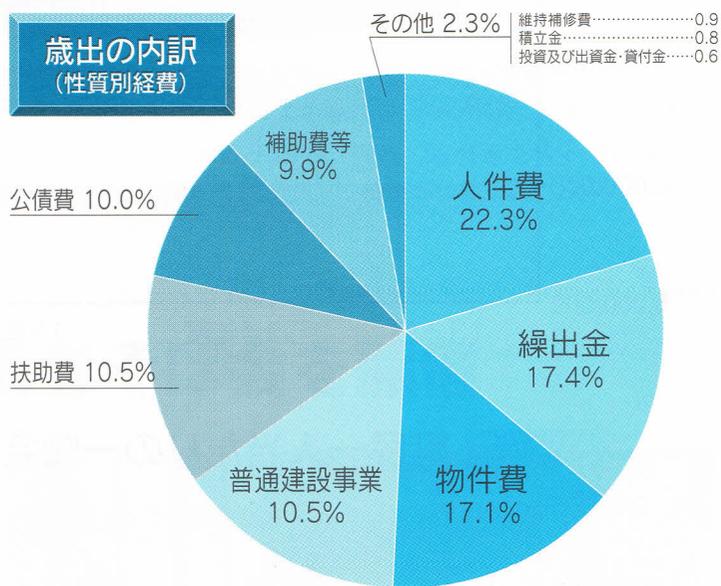
●H18.3.31現在 13,773世帯
●住基人口 39,864人

歳出の内訳

合計 98億7,040万4千円



歳出の内訳 (性質別経費)



町有財産

主な町の財産は次のものです。

並木杉

1本

建物

124,569.71㎡

土地

1,332,517.20㎡

出資による権利

5,007万8千円
壬生町施設振興公社出捐金、
栃木県信用保証協会出捐金、その他

基金

42億2,389万3千円

〈主な基金〉

財政調整基金.....10億3,909万6千円
減債基金.....4億1,620万2千円
庁舎建設基金.....13億2,713万4千円

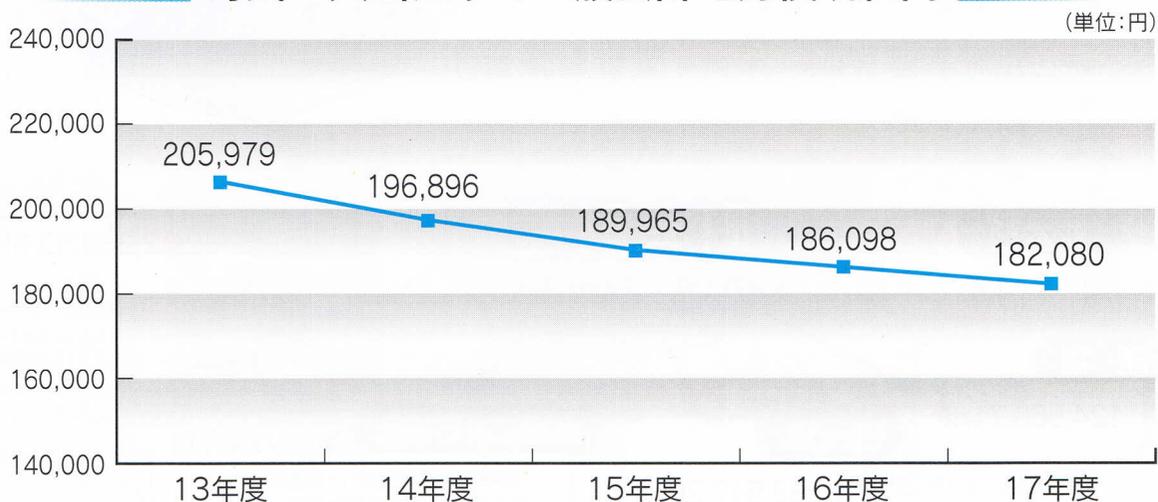
一般会計決算額の推移



一般会計地方債現在高の推移



町民一人当たりの一般会計地方債現在高

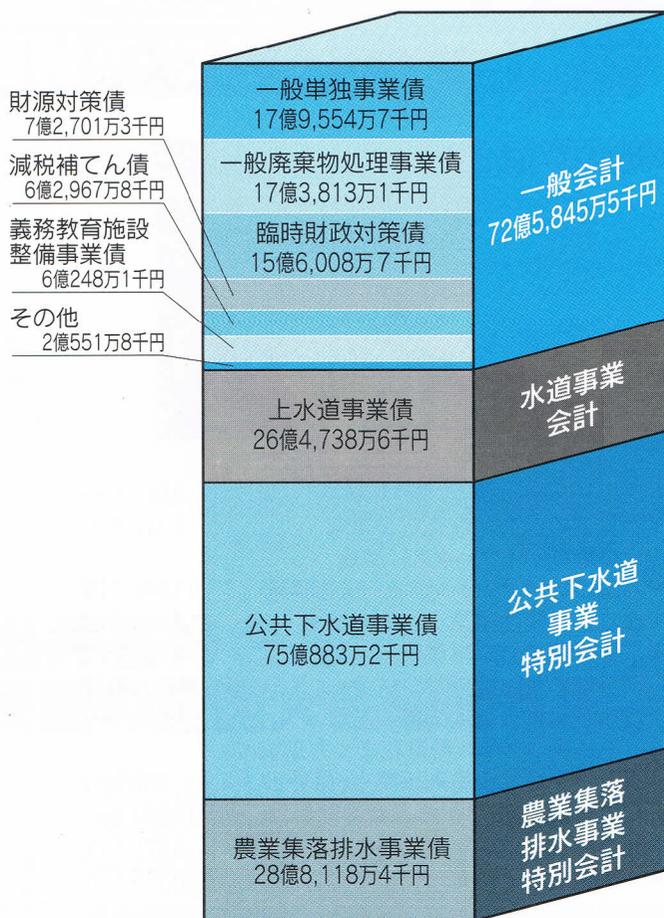


●県内市町村で比較してみると、33市町村中、地方債現在高は少ない方から11番目です。
 ●一人当たりの現在高は少ない方から2番目です。*ただし、人口は平成18年3月31日現在の住民基本台帳による。

●●● 主な財政分析指標 ●●●

項目	平成17年度	説明
財政力指数	0.709	財政力指数が「1」に近いほど財源に余裕があり、「1」を超えると地方交付税の不交付団体となります。 平成17年度決算時では、県内で20番目となっています。
経常収支比率	83.0	団体の財政構造の弾力性を測定する比率として使われ、適正水準は、一般に70~80%と考えられています。 平成17年度の県平均は、85.6%となっています。
公債費比率	10.0	地方債を借り入れた場合、毎年元金と利息の支払いが必要になります。これを公債費といい、この公債費の一般財源に占める割合を公債費比率と言います。
起債制限比率	5.4	地方債の許可に係る指標のひとつで、20%を超えると、その超える段階ごとに起債が制限されます。 平成17年度決算時では、県内で最も低い数値を示しています。 平成17年度の県平均は9.8%となっています。

地方債現在高 (平成17年度末現在)



特別会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	繰越金
国民健康保険特別会計	40億5,251万9千円	38億1,589万3千円	2億3,662万6千円
公共下水道事業特別会計	17億3,214万4千円	17億612万7千円	2,601万7千円
奨学資金特別会計	169万4千円	158万8千円	10万6千円
老人保健事業特別会計	28億6,578万1千円	27億9,196万8千円	7,381万3千円
介護保険事業特別会計	14億4,897万7千円	14億1,080万6千円	3,817万1千円
農業集落排水事業特別会計	8億7,877万4千円	8億7,026万1千円	851万3千円

水道事業会計	収益的収入	収益的支出	特別損失	純利益
	5億6,509万5千円	4億4,003万5千円	962万円	1億1,544万円
	資本的収入	資本的支出	※収支不足額	
	2億8,251万円	5億6,955万7千円	2億8,704万7千円	

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、減債積立金取り崩し額、損益勘定留保資金等で補てんしました。

- ・し尿処理施設運営管理業務委託事業 24,381千円

●労働費

- ・勤労青少年ホーム維持管理事業 4,065千円
- ・勤労青少年ホーム各種教養講座開催事業 2,066千円
全11講座、219回開催

●農林水産業費



ファームフェスタ2005

- ・水田農業構造改革対策事業 3,011千円
- ・とちぎの園芸活性化対策事業 6,418千円
いちごパイプハウスに助成
- ・みぶ・アグリチャレンジャー支援事業 11,999千円
- ・松くい虫防除事業 3,575千円
- ・平地林保全対策事業 5,053千円
わんぱく睦っ子の森、わんぱく北っ子の森管理委託料等
- ・都市と農村の交流促進事業 1,272千円
下稲葉コスモス街道花まつり助成等
- ・担い手規模拡大推進事業(交付者37人) 957千円
- ・全日本ホルスタイン共進会開催事業 11,383千円
- ・町単独農道整備事業 3,171千円
- ・基盤整備促進事業 30,156千円

●商工費

- ・商工業振興補助事業 25,769千円
商品券発行事業、蘭学通りまつり等に対して助成
- ・中小企業融資制度事業 60,012千円
- ・企業立地奨励補助事業 3件 4,260千円
- ・観光振興団体助成事業 15,940千円
- ・おもちゃ博物館維持管理事業 528千円
入館者 124,955人
- ・おもちゃ博物館施設整備事業 26,029千円
鉄道模型改修業務委託料、駐車場舗装工事等

●土木費

- ・町道管理事業 17,999千円
- ・町道修繕事業 77,372千円
- ・壬生インター北通り(No.2-565号線) 64,044千円
- ・No.2-327号線 31,203千円
- ・一級町道9号線 47,853千円
- ・二級町道69号線 29,925千円
- ・No.2-284号線 44,908千円
- ・町単独道路整備事業 173,784千円
- ・御里土地区画整理事業 70,087千円
- ・安塚駅西広場整備事業 49,041千円
- ・総合公園維持管理事業 36,027千円
- ・東雲公園維持管理事業 46,111千円
ふれあい交流館利用者 42,405人
- ・聖地公園維持管理事業 3,675千円
- ・城址公園維持管理事業 9,654千円
- ・小中規模公園維持管理事業 13,686千円
- ・聖地公園整備事業 25,200千円
- ・総合公園整備事業 39,876千円

駐車場整備工事等

- ・北関東自動車道休憩施設及周辺開発事業 7,484千円
- ・町営住宅維持管理事業 8,474千円

●消防費

- ・石橋地区消防組合負担金 494,638千円
- ・防火水槽整備事業 5,868千円
旭町地内

●教育費

- ・外国語指導助手配置事業 2人 8,986千円
- ・教育相談員配置事業 4人 7,721千円
- ・非常勤講師配置事業(小学校14人) 30,115千円
- ・小学校施設改修等工事 54,734千円
藤井小校舎ベランダ爆裂及び防水改修工事、
東小北校舎耐震補強工事設計及び判定業務委託料等
- ・情報教育推進事業(小学校) 19,392千円
パソコン賃借料、保守点検委託料等
- ・小学校教師用教科書・指導書等購入事業 9,388千円
- ・非常勤講師配置事業(中学校3人) 6,359千円
- ・中学校施設改修等工事 35,936千円
壬生中校舎及び体育館耐震診断業務委託料、
南犬飼中バリアフリー化対策工事等
- ・情報教育推進事業(中学校) 3,313千円
保守点検委託料等
- ・マイ・チャレンジ推進事業 1,971千円
- ・中学生国際交流推進事業 8,642千円
オーストラリアへ28人派遣
- ・幼稚園就園奨励費補助事業 36,100千円
- ・すこやか子育て支援事業 14,008千円
- ・女性活動推進事業 2,849千円
男女共同参画計画策定に係る基礎調査業務委託料等
- ・学校地域支援ボランティア推進事業 2,077千円
防犯ベストの購入等
- ・音楽鑑賞会開催等委託事業 38,007千円
ドレスデン歌劇場室内管弦楽団&森麻季、チェコ・ブラ
ハ管弦楽団、アナスタシア・チェボリョーフ、ユンディ・リ、その他
- ・各種講座等関係事業 4,905千円
みぶ文化教室 五木寛之、中原ひとみ
- ・図書等購入事業 7,890千円
利用者数 49,762人 貸出件数 205,020点
- ・歴史民俗資料館企画展等開催事業 4,870千円
企画展「大名 鳥居家」
特別展「狩野派と壬生藩の絵師たち」
- ・埋蔵文化財発掘調査事業 3,647千円
桃花源古墳航空写真測量業務委託料等
- ・生涯学習館各種講座等開催事業 2,311千円
親子ふれあい教室、リトミック教室、その他
- ・情報通信技術(IT)講習推進事業 2,310千円
IT基礎、ワード・エクセル講座、その他
- ・運動場維持管理事業 21,968千円
利用者数 運動広場 35,431人 体育館 24,811人
武道館 9,695人 テニスコート19,699人
トレーニングルーム 3,105人
- ・運動場改修等工事 2,253千円
体育館等消防用設備改修工事等
- ・ふれあいプール維持管理事業 40,774千円
利用者数 57,729人
- ・ふれあいプール改修等工事 13,807千円
洗体槽周域舗装改修工事、各循環ポンプ分解整備
工事等

平成17年度の主な事業実績

●議会費

- ・議員研修事業 1,372千円
- ・議会だより発行事業 年4回発行 2,296千円

●総務費



合併50周年記念式典

- ・合併50周年記念事業 7,945千円
記念コンサート開催等
- ・人材育成計画策定事業 1,627千円
- ・広報発行事業 17,350千円
広報壬生・毎月23日発行、
広報みぶおしらせ版・毎月8日・23日発行
- ・庁舎維持管理事業 29,388千円
- ・庁舎改修等工事 1,390千円
正庁床張替工事、庁舎内ガス配管付替工事等
- ・第5次総合振興計画策定事業 7,987千円
- ・企画事務費 1,092千円
まちづくり住民会議開催等
- ・情報化推進事業 34,140千円
パソコン12台更新、ウイルス対策システム導入等
- ・交通安全施設整備事業 3,979千円
道路反射鏡33基等設置
- ・おもちゃのまち駅自転車駐車場管理事業 8,823千円
- ・防犯灯維持管理事業 9,695千円
- ・防犯灯新設事業 2,428千円
- ・徴収嘱託員設置事業 嘱託員2名 3,854千円
- ・納税奨励事業 32,519千円
- ・固定資産税課税用資料整備事業 14,016千円
- ・町長選挙費 1,977千円
- ・町議会議員選挙費 16,367千円

●民生費

- ・社会福祉協議会育成事業 31,545千円
- ・敬老金支給事業(対象者2,940人) 26,746千円
- ・老人保護措置事業(措置者10人) 21,781千円
- ・高齢者家庭介護者助成事業(利用者287人) 14,646千円
- ・紙おむつ給付事業(利用者518人) 13,932千円
- ・町老人クラブ連合会等補助事業 4,630千円
- ・シルバー人材センター育成事業 14,060千円
- ・外出支援サービス事業(延利用回数2,547回) 2,266千円
- ・配食サービス事業(利用者164人) 5,912千円
- ・生きがい活動支援通所事業(延利用者1,166人) 2,000千円
- ・在宅介護支援事業 2,699千円
実態把握 982件 介護予防プラン作成 24件
- ・高齢者保健福祉計画策定事業 2,100千円
- ・富士見荘維持管理事業(利用者3,712人) 2,324千円
- ・富士見荘改修等工事 2,568千円
- ・授産施設むつみの森維持管理事業 52,390千円
- ・重度心身障害者医療費助成事業 49,173千円
- ・身体障害者施設訓練等支援事業 63,180千円

- ・知的障害者施設訓練等支援事業 176,495千円
- ・民間保育園委託事業 259,735千円
ありんこ保育園、壬生寺保育園、メリーランド保育園に委託
- ・広域保育委託事業 11,385千円
- ・保育対策促進事業等推進費補助事業 53,915千円
ありんこ保育園、壬生寺保育園、
メリーランド保育園、森の子保育園に助成
- ・民間育児サービス対策補助事業 3,261千円
さくらんぼ保育園、森の子保育園に助成
- ・放課後児童健全育成事業 12,530千円
メリーランド児童クラブ、どんぐり児童クラブ、
ベリーキッズクラブ、森の子児童クラブに委託
- ・児童手当扶助事業 174,433千円
- ・すこやか子育て支援事業(39人) 3,900千円
- ・幼児用補助装置購入費補助事業(214件) 3,021千円
- ・民間保育園施設整備補助事業 19,687千円
森の子保育園に助成
- ・乳幼児医療費助成事業 56,937千円
- ・妊産婦医療費助成事業 14,530千円
- ・児童館管理運営事業 2,019千円
- ・障害児通園ホームドリームキッズ管理運営事業 3,243千円
- ・子育て支援センターひよこ管理運営事業 342千円

●衛生費



健康ふくしまつり

- ・在宅当番医師委託事業 2,040千円
- ・斎場負担金 6,311千円
- ・病院群輪番制病院運営費等負担金 10,018千円
- ・健康ふくしまつり開催事業 2,137千円
- ・予防接種事業 36,937千円
(麻疹、風疹、三種混合、日本脳炎、インフルエンザ)
- ・健康診査事業(基本健診、ガン検診等) 60,317千円
- ・母子健診事業 8,818千円
(乳幼児健診、幼児歯科健診、妊婦健診)
- ・墓園維持管理事業 6,073千円
- ・環境保全対策事業 4,201千円
河川水及び特定事業場排水分析、
ゴルフ場農薬環境影響調査等
- ・浄化槽設置補助事業(30基補助) 11,805千円
- ・保健福祉センター維持管理事業 9,776千円
- ・資源ごみ回収関係報償事業 7,975千円
資源ごみ 588 t、ペットボトル 1,744,174本
- ・清掃センター維持管理事業 114,635千円
- ・焼却施設運転管理業務委託事業 53,760千円
- ・ごみ収集及び運搬業務委託事業 93,542千円
- ・不燃・粗大ごみ等中間処理業務委託事業 62,308千円
- ・清掃センター改修等工事 27,396千円
焼却施設1系焼却炉天上面耐火物修繕工事等
- ・清掃センター焼却灰運搬車両購入事業 5,810千円
- ・環境センター維持管理事業 8,568千円
- ・浸出水処理施設運転管理委託事業 15,624千円
- ・クリーンセンター維持管理事業 35,950千円

交通安全は「家庭」「学校」「職場」「地域」から

第31回壬生町交通安全町民大会開催

死亡事故多発中！
注意しましょう！

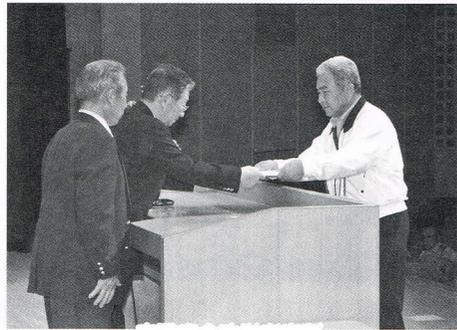
ほぼ同様ですが、死者数においては6人と、最悪の状態となっています。

最近の交通事故の傾向は、高齢者の割合が非常に高く、栃木県内の死亡事故の約4割を高齢者の事故が占めています。また、シートベルトの未着用や飲酒運転による事故も未だに減少していません。

このような中、この大会を契機に交通安全の意識を高め、交通事故の抑止を目的とし、交通安全町民大会が開催されました。

秋の交通安全運動期間中（9月21日～9月30日）の9月24日、壬生町、壬生町交通安全協会（坂田佐一郎会長）主催による、「第31回壬生町交通安全町民大会」が、壬生中央公民館で開催されました。

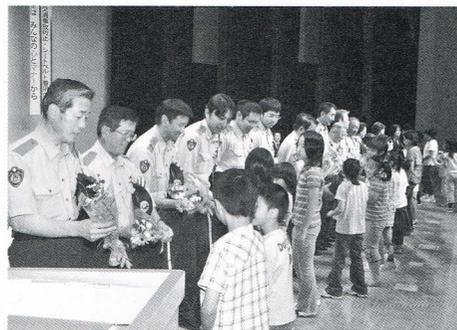
8月末現在において、県内の人身事故発生件数は9,939件、負傷者は12,890人、死者数は111人で、負傷者件数と死者数は前年同期に比べて減少していますが、全国における人口当たりの死者数は、全国4位と悪い状態のままです。壬生町においては、人身事故168件、負傷者203人で、昨年と



交通安全功労者表彰

第1部の式典では、交通事故犠牲者に対して黙祷を捧げた後、清水英世町長、小池幸男栃木警察署長のあいさつが行われ、出席者に交通安全を呼びかけました。続いて、交通安全功労者や交通安全ポスター及び作文入選者の表彰が行われました。作文で最優秀受賞者を代表して、陸小5年の小野塚愛さんと、南犬飼中1年の高山茉夕さんが作文の朗読をしました。また、日頃お世話になっている警察官、交通指導員へ児童から花束が贈られ、最後に「大会宣言」が読み上げられました。

第2部では壬生中学校吹奏楽部の演奏会が行われ、出席したみなさんに素晴らしい演奏を披露しました。



警察官・交通指導員に花束贈呈

交通安全功労者表彰・感謝状（敬称略）

●功労表彰

角田晴伸、糸川菊治、杉山文雄、高村刻夷、山崎豊三、半井宏、松本ヨシ、橋本智恵子、藤田千江、戸室みち子、田村キク、高橋和子

●感謝状

■交通指導員退職者

大場和男、田中作蔵、竜田和昭

交通安全ポスター・作文入選者（敬称略）

●ポスター

■最優秀賞

森田実希（壬生北小1年）、池田直央（安塚小2年）、森田有加里（壬生北小3年）、平澤里菜（壬生北小4年）、谷里杏花（壬生東小5年）、戸崎菜那（壬生小6年）、内山瑞稀（南犬飼中1年）、塩谷紀和（壬生中2年）、石澤里咲（南犬飼中3年）

■優秀賞

鈴木春香（壬生小1年）、落合真子（安塚小1年）、大塚葵月（壬生東小2年）、山口宇広（羽生田小2年）、小林久乃（壬生東小3年）、小林拓海（壬生北小3年）、吉田優花（藤井小4年）、青木夕奈（陸小4年）、神永朋佳（稲葉小5年）、齊藤有理沙（壬生北小5年）、大西史晃（壬生小6年）、橋本優美（藤井小6年）、星川悟（壬生中1年）、長岡理恵（壬生中1年）、高田遼太（壬生中2年）、島田花純（壬生中2年）、関美穂（壬生中3年）、大橋瞳（壬生中3年）

●作文

■最優秀賞

森田実希（壬生北小1年）、小野塚愛（陸小5年）、高山茉夕（南犬飼中1年）

■優秀賞

神澤奈央（壬生東小1年）、田

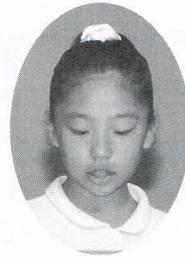


壬生北小1年 森田実希

交通安全ポスター
最優賞作品



南犬飼中1年 高山菜夕



睦小5年 小野塚愛

最優秀賞作文を朗読

中利直（稲葉小2年）、橋本知佳（藤井小6年）、加藤千晶（睦小6年）、関口愛（壬生中1年）、藤巻宏将（南犬飼中1年）



壬生東小5年 谷黒杏花



壬生北小4年 平澤里菜



壬生北小3年 森田有加里



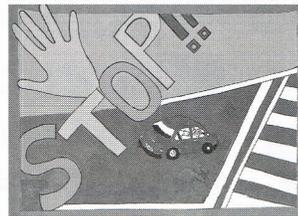
安塚小2年 池田直央



南犬飼中3年 石澤里咲



壬生中2年 塩谷紀和



南犬飼中1年 内山瑞稀



壬生小6年 戸崎菜那



踏切の一時停止を呼びかけ

9月21日から30日の10日間、秋の交通安全運動が行われました。
町内各所で街頭広報活動が行われ、シートベルト・チャイルドシート着用、踏切での一時停止、飲酒運転の追放などを呼びかけました。
また、高齢者交通安全のつどいでは、交通事故で大きな割合を占める高齢者の方に交通安全を呼びかけました。
そのほか、放置自転車の撤去や、各小学校の運動会において、交通安全パレードが行われました。



高齢者交通安全のつどい



放置自転車の撤去

秋の交通安全運動
街頭広報等を実施

新しい農業者年金制度に加入しませんか

21世紀の日本は超高齢・人口減少社会になると予測されています。リタイア後の長い老後を安心して暮らすためには、若いうちからの備えが必要で、年金への加入は欠かせません。新農業者年金は、少子高齢化が進んでいる状況下でも、長期的に安定する積み立て方式の年金制度を採用しています。つまり、「自分が積み立てたお金を国が運用し、老後になったら年金として受け取る」というもので、安心して老後に年金が受け取れます。

メリット

1 農業に従事する方は広く加入できます

国民年金の第1号被保険者で年間60日以上農業に従事する60歳未満の方は誰でも加入できます。農地を持っていない農業者や家族従事者も加入できます。脱退も自由です。脱退一時金は支給されませんが、加入期間にかかわらず、それまでに支払った保険料は将来年金として受け取れます。

年間60日以上農業に従事



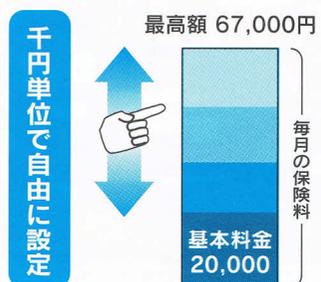
確定拠出型
年金

2 安定した年金の財政運営ができる仕組みです

将来の年金受給に必要な原資をあらかじめ自分で積み立て、運用実績により受給額が決まる確定拠出型年金であるため、安定した年金の財政運営ができます。運用利回りの状況等に応じて保険料が引き上げられることはありません。

3 保険料は自由に選択できます

毎月の保険料は20,000円を基本とし、最高67,000円まで1,000円単位で選択できます。それぞれの経済的な状況や老後設計などに応じて保険料を自由に設定でき、かつ、いつでも見直すことができます。



4 80歳までの保証が付いた終身年金です

年金は終身受給できますが、仮に、加入者や受給者が80歳になる前に亡くなった場合は、死亡した月の翌月から80歳までに受け取るはずの農業者老齢年金を予定利率で割り戻した額を死亡一時金として遺族が受け取れます。

5 税制面でのメリットがあります

保険料は全額社会保険料控除（所得控除）の対象となります。年金は公的年金等控除の対象となります。

全額所得控除

個人年金の場合は
年額最高5万円 保険料



一定条件を満たす方は…

政策支援

自己負担分

自己負担分

6 意欲ある担い手に保険料助成があります

60歳までに農業者年金に20年以上加入することが見込まれ、かつ認定農業者等一定の条件を満たす方は、基本となる保険料（20,000円）のうち、国から保険料助成（政策支援）があります。

旧の農業者年金の加入者へ

受給は、**経営移譲年金・農業者老齢年金・特例脱退一時金**の3本立てです

経営移譲年金

農業経営を後継者等に移譲して受給するもので、基本的には65歳から受給となりますが、60歳からでも受給できます。（ただし、昭和32年1月1日以前に生まれた方のみです。それ以降に生まれた方は経営移譲年金と老齢年金の単価が同額となるため、老齢年金の受給となります。）

農業者老齢年金

経営移譲をしないで、65歳から受給する年金です。

特例脱退一時金

年金として受給するのではなく、一時金として受給できますが、自分で納付した額の約80%の受給額になります。

受給すると年金としては受給できなくなります。

申請は、印鑑を持って農協各支店へお願いします。

請求期限は平成19年1月1日までですが、年末休みになる前に手続きをしてください。

経営移譲年金を受給申請される方へ

申請は誕生日の前々日までですが、受給申請の書類作成には日数がかかりますので、相談は遅くとも65歳の誕生日の半年前までにお問い合わせいたします。受給開始後農地の売却・用途変更等すると、年金の一部が受けられなくなる場合があります（一部適用除外がある）ので、事前に相談してください。

まちのわだい



第1回おもちゃ団地夏まつり開催

8月25日の夕方、花火を合図に第1回のおもちゃ団地夏まつりが盛大に行われました。

会場となった、おもちゃ団地内のバンダイ・テクニカルデザインセンターは、多数の縁日コーナーや飲食の売店が立ち並び、大勢の家族連れで賑わいました。

特設ステージでは、町内の幼稚園、保育園、小学校、中学校の児童・生徒による各種発表が披露され、それを見守る家族の声援で盛り上がりました。その後、おもちゃの抽選会が行われ、子どもたちは夏休みの最後のイベントを楽しんでいました。



火災を想定した火災防衛訓練を実施 壬生町消防団



8月29日、壬生町消防団（鈴木正美団長・団員203名）と石橋地区消防組合による救出訓練及び火災防衛訓練が実施されました。

救出訓練は、火災で壬生北小学校3階のベランダに人が取り残されたという想定で、石橋消防署救助隊（レスキュー隊）により、はしごを使った救出が行われました。

火災防衛訓練では、実際の火災を想定し、団員に訓練実施場所を公表せず、実際の火災と同様に石橋地区消防本部からの無線指令により出動し、放水等の消火活動を行いました。

いざ!という時のために 消火技術の向上を図る消火競技大会開催

9月9日、壬生町総合運動場で、壬生町・壬生町女性防火クラブ主催による、第23回壬生町消火競技大会が11チーム22人参加のもと実施されました。この大会は家庭に備え付けの消火器で火を消すことで、消火技術の向上と消火器の取扱いの習熟を目的とした大会で、はじめに消火器の使い方講習会が行われ全員しっかり覚えてから競技実施となりました。

消す位置を指示する指揮者と消火者の2名が1組となり、前方15mの位置に置かれた燃焼皿から燃え広がる危険物火災を簡易消火器により消火し、タイムを競います。石橋消防署壬生分署及び安塚分遣所職員が号令や消火位置、基礎動作や消火方法など厳しく審査が行われました。競技に初めて参加した人は、「なかなか消火器を使う機会がないので、自信ができました」と話していました。



参加者のみなさん

第一位: 梁島良枝 河田美智子 第二位: 大栗良子 大藤とし子 第三位: 大橋和枝 山田キクエ

「第12回栃木県民福祉のつどい」で表彰

9月5日、宇都宮市文化会館において開催された第12回栃木県民福祉のつどいにおいて、次の方々が表彰されました。

(敬称略)

○栃木県知事表彰 (民生委員・児童委員功労者)

石崎典子 根本信子

○栃木県社会福祉協議会会長表彰 (民生委員・児童委員功労者)

中川 淳 齊田晃男 鈴木理助 中村安宏 渡邊 章
吉葉ミツ 大関チヨ 早川毬子 鈴木文代 小林キミ子
柏崎美代子 栄松澄子

○栃木県共同募金会会長表彰

荒川ノリ子



根本さん 石崎さん 清水町長



出井さん 清水町長

出井喜好さん 民謡の全国大会優勝を報告

「出井喜峰」という名で活躍されている、出井喜好さん(釜ヶ淵)が、滋賀県大津市で開催された「第18回びわ湖大津淡海節全国大会」に出場し、一般の部で見事優勝され、9月27日、優勝の報告に町長室を訪れました。

出井さんは、今回のものを含め、16の民謡大会で優勝されているとのことで、20を目標に頑張っていきたいとお話いただきました。

また、出井さんは、子どもたちに民謡の指導を行うなど、後継者の育成にも尽力されています。

「役場ロビーに大凧を展示

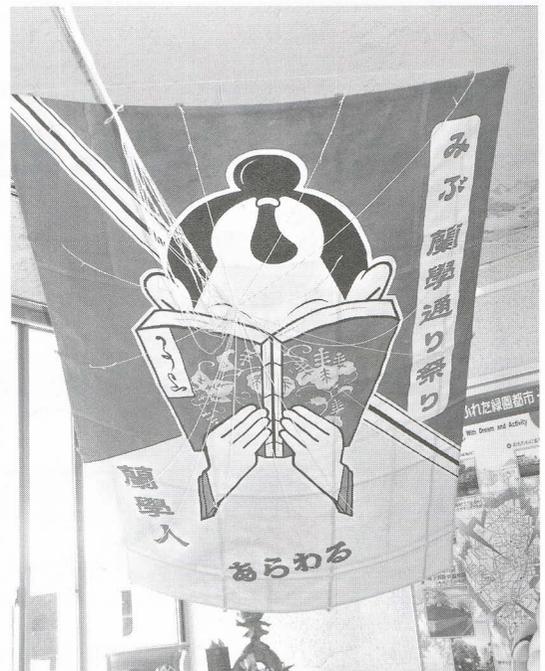
役場1階ロビーに、蘭学通りまつり用に製作した大凧を展示いたしました。

この大凧は、江戸時代の侍が勉学に励む姿を絵にしたもので、蘭学通りシンボルとなっているものです。

下野凧の会に所属する深瀬幸男さん(幸町2丁目)が、6月からおもちゃ博物館において製作してきた大凧を、蘭学通りまつり実行委員会のメンバーがまつりのPRを兼ねて、まつりの前日までロビーに展示されました。

今年は、実行委員会でも深瀬さんの指導を受けて、各商店会ごとに大凧を作りました。大凧の骨組みを作り、和紙を貼って、絵を描き完成まで約2ヶ月の期間を要したそうです。これらは蘭学通りまつりの会場に展示されました。

また、栄町商店街では、空き店舗を利用して、9月15日から展示を行いました。



役場ロビーに展示された大凧

まちのわだい



夜間防犯パトロールで安全・安心なまちづくり

上稲葉駐在所協力会

8月26日、上稲葉駐在所協力会（荒川誠一会長）の会員8名が、稲葉駐在所・吉田さんと地域の安全・安心のため、夜間防犯パトロールを実施しました。夏は特に夜の犯罪等が多い傾向にあり、町内でも車上あらしが多発しているため、地域の2つの小学校を中心に防犯を呼びかけるとともに、人家の途切れる場所や河川敷や駐車場等を回り、不審な車両等はないかを監視しました。なお、協力会では、定期的に防犯パトロールを実施しています。



稲葉駐在所吉田さんと協力会のみなさん

第8回花いっぱいコンクールを開催

睦地区コミュニティ推進協議会



自治会長さんから説明を受けながら審査をしました

9月10日、睦地区コミュニティ推進協議会（高橋悦子会長）主催による、「第8回花いっぱいコンクール」が行われました。各自治会から1人ずつ、11人の小学生も審査に加わり、2つのグループに分かれて睦地区の各自治会を回り、自治会で管理をしている花の審査を行いました。

自治会を回った後、コミュニティセンターにおいて、小学生を中心に感想や意見を発表し、各コースの自治会の順位をつけたほか、「チョウとハチのレストランで賞」など、それぞれの自治会にユニークな賞がつけられました。

子どもたちのために役立てて欲しいと、 ぞうきん1000枚を寄付

9月21日、あけぼの町の篠原ツツギさんから、町にぞうきん1000枚が寄付されました。

ぞうきんはタオルを材料とした手縫いで、作るのに3～4年ほどかかったそうです。

子どもたちに物の大切さを知ってもらおうと作りはじめたのがきっかけで、この度出来上がったぞうきん1000枚を子どもたちのために役立ててもらいたいとのことで町に寄付していただきました。

町では、いただいたぞうきんを保育園と小中学校に配布いたしました。



ぞうきんを縫う様子を見せていただきました

会場は笑い と 歓声 で いっぱい

壬生町敬老のつどい

9月14日、壬生中央公民館において、「壬生町敬老のつどい」が開催されました。当日はあいにくの雨でしたが、この日を楽しみにしていた高齢者に多数出席していただきました。

式典では、主催者の清水町長から長寿のお祝いのあいさつの後、県議会議員や町議会議員長など多数の来賓の祝辞をいただきました。

例年の場合、これで演芸になったわけですが、今年は壬生町において交通死亡事故が多発し、高齢者も関係する事故も発生していることことから、交通安全の講話を行いました。栃木警察署交通課の磯係長によるユーモアを交えた「一時停止やシートベルト着用について」など話がありました。

続いて、演芸の部では、午前に歌謡ものまね、相撲漫談が行われ、午後には、ロス・インディオス&アリシアによる歌謡ショーが行われました。歌謡ショーでは、会場内の希望者によるデュエットが行われたほか、ヒット曲の「別れても好きな人」等の生のコーラスが披露され、会場のみなさんは往年の名曲に聴き惚れていました。



歌謡ものまね・相撲漫談では、会場は笑いにつつまれました

国谷本田で敬老そば会を開催

9月18日の敬老の日に、国谷本田の有志でつくる長男会（越利男会長）は、地元のお年寄りを招待して、手打ちそばをふるまう敬老そば会を開催しました。

この日真勝寺において、朝早くから会員でそば打ち名人の高山征夫さんと高岩基治さんが50食分のそばを打ち、他の会員と8人の奥さん方が、料理を作り天ぷらを揚げたりして準備をしました。夕方集まってきた11人のお年寄りたちは、壬生民話の会による紙芝居や昔話を聞き、打ち立てのそばをいただきました。



おいしいそばにみなさん舌鼓を打ちました

敬老そば会は、地域のために頑張ってこられた地元のお年寄りたちに何らかのかたちで感謝の意を示したいと、長男会が5年前から毎年行っているもので、お年寄りたちは毎年この日を大変楽しみにしています。

みんなの広場



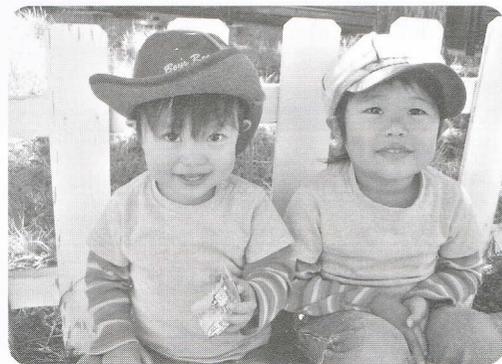
今回は12月生まれのアイドルを募集します。
(締切11月20日)。写真はお返しします。

応募者多数の場合は抽選になることもありますのでご了承ください。

写真裏に住所、氏名、保護者名、生年月日、電話番号を書いて、役場企画財政課(直接又は郵便で〒321-0292壬生町通町12-22)または、稲葉・南犬飼各出張所、生涯学習館へ。



高橋タカハシ薫平ちゃん (前宿坪)
(H17.10.28生)



神山ヤマノ大和ちゃん 和博ちゃん
(H16.10.19生) (H14.9.1生)
(幸町二丁目)

歴史民俗資料館だより

シリーズⅡ

『みぶの史跡を訪ねて』

ナナシ塚古墳

ナナシ塚古墳は、現在の安塚地区にあった古墳です。昔の記録によると、大正年間に塚が崩された際に、人物埴輪や土器が数多く出土したとされています。その後昭和5年に、出土資料は現在の「東京国立博物館」に保管されることになり、今日に至っています。その間には「ナナシ塚古墳」から出土した人物埴輪は、先の号で紹介した「上田浅間塚古墳」から出土した埴輪として紹介される本も出版されるなど、一時出土地が誤って伝えられる時期もありました。しかし平成8年に、「ナナシ塚古墳」の所有者の方が保管していた1点の埴輪のかけらが、出土地が特定されていない人物埴輪の出土地を確定することになりました。埴輪のかけらは「美豆良」と言われる髪の一部を表現するものでした。「東京国立博物館」に保管されている人物埴輪も、「美豆良」の部分の欠いていたため、そのカケラの照合作業をお願いしたところ見事に接合し、その結果出土地も間

違いなく「ナナシ塚古墳」出土の人物埴輪として認められました。今回の出来事は、わずかな埴輪のカケラでも大切であることを、私たちに教えてくれました。
写真は「美豆良」を接合する前と、後の写真です。レプリカは歴史民俗資料館において展示しています。



(修復後) 人物埴輪 (修復前)
歴史民俗資料館蔵 (レプリカ)

次回からは、実際に見学のできる古墳を紹介していきます。

問合せ先

歴史民俗資料館
☎ 82-8544

MIBUナイターサッカー

9月24・26・27日 町総合運動場
8チーム128名参加

22nd



F.C. NEOLEROのみなさん

【試合結果】

3位決定戦
N.G.FC (2-1) 壬生FC

決勝戦
F.C. NEOLERO (2-2) BRAND
(3PK2)

【成績】

優勝 F.C. NEOLERO
(代表 小平郁夫)

準優勝 BRAND
(代表 葭葉統太)

MVP
高山 晃 (F.C. NEOLERO)
武藤建治 (BRAND)

第36回 青少年健全育成剣道錬成大会

9月3日

壬生中学校体育館
40団体 94チーム参加
壬生町少年剣道教室主催

◎ 中学男子団体の部

優勝 蔵の街剣志会
準優勝 富士見町剣道クラブ
第3位 静和剣志会
第3位 高根沢町剣道教室

◎ 中学女子団体の部

優勝 養心館道場
準優勝 眞和館剣道場
第3位 小山少年剣道
第3位 蔵の街剣志会

◎ 小学生団体の部

優勝 小山警察道場
準優勝 麒麟今泉剣友会A
第3位 凌雲館
第3位 蔵の街剣志会

助役に 神永榮氏再任



第5回壬生町議会定例会において、神永榮氏が助役選任の同意を受け、9月15日、助役に再任されました。神永氏は、昭和37年から37年間役場に奉職。その間、農務課長、建設課長、建設部長、総務部長等を歴任。平成10年9月、1期目の助役に就任し、今回の選任で3期目の就任となります。

平成18年地価調査

土地の標準価格を公表

栃木県知事から9月19日付けで平成18年地価調査基準地の標準価格が公表されました。

これは、国土利用計画法に基づいて、県知事が7月1日を基準日として調査したものです。

この価格が民間の土地取引の目安となり、公共事業の用地取得の基準になります。

閲覧希望の方は、町総務部企画財政課へお越しください。

■ 調査基準日

平成18年7月1日

■ 基準地の価格

1平方メートル当たりの価格

▼ 第1種中高層住居専用地域

表町1928番2

〈表町11-46〉
39、800円

▼ 第1種低層住居専用地域

▼ 壬生丁字六美117番24

47、100円

▼ 緑町1丁目1022番24

〈緑町1-4-11〉

59、000円

▼ 第1種住居地域

▼ 至宝3丁目48番25

〈至宝3-4-6〉

46、900円

▼ 中央町327番3

〈中央町2-15〉

49、500円

▼ 安塚字宿内1928番外

14、500円

▼ 近隣商業地域

▼ 緑町2丁目1022番170

〈緑町2-5-6〉

71、500円

▼ 中央町1343番7

〈中央町7-18〉

63、200円

▼ 市街化調整区域

▼ 羽生田字前川原2346番4外

16、200円

▼ 下稲葉字金ヶ渕64番1外

13、900円

介護予防ボランティア育成講座を開催

介護保険では、介護予防の大切さを住民の皆様を理解していただくため、今回シルバー大学卒業生に協力をお願いして、介護予防の知識や技術を修得していただき、介護予防指導員のサポーターとして地域で活躍できるように、「介護予防ボランティア育成講座」を9月20日から開催いたしました。

この講座は、町が社会福祉協議会に委託し、全6回の開催を予定しております。

講座終了後は、高齢者の集まる場所において、介護予防のた



熱心に話を聞く参加者のみなさん

すこやかベビー・ご家族紹介

町では、第3子以上の児童を養育している方に「すこやか子育て支援金」を交付しています。

※支援金の受給要件、申請方法等は、町福祉課児童福祉係（☎81-1831）へ



長山秀平ちゃんご兄弟（安塚二）



草部美空ちゃんご兄弟（安塚三）

寄付

- ◆社会福祉協議会へ（○数字は寄付回数）
- 壬生町商工会女性部様①⑥ …………… 1万551円
 - 村上 祥子様① …………… 1千円
 - 羽生田西部親睦会様④⑩ …………… 3千円
 - 小林 榮様⑫ …………… 5千円
 - 横尾 貞一様① …………… 1千円

◆町へ
8月28日、安田知子様から、社会福祉に役立てて欲しいと、10万円の寄付がありました。
9月13日、ファーストクラブMIBU（荒川清代表）様から、社会福祉に役立てて欲しいと、3万円の寄付がありました。



ファーストクラブのみなさん



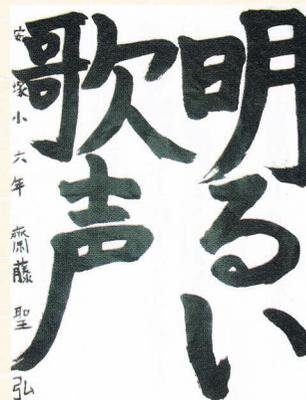
安田さん



防犯ポスター



安塚小 6年
中山 ゆき紀



安塚小 6年
齋藤 聖弘

まちのうごき

9月1日現在

総人口	40,102 人 (7)
男	19,665 人 (Δ 2)
女	20,437 人 (9)
世帯数	13,816 世帯 (13)
	()内は前月比

11月の納税等

- 国民健康保険税(5期)
- 介護保険料(普通徴収・5期)

納期限 11月30日